

平成 25 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	日光児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市日光町9丁目1番地3		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	13,132,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,001.55㎡ ◇延床面積:370.16㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集会室、事務室、駐車場(日光コミュニティセンター駐車場と共有) ※日光コミュニティセンター、日光事務所との合築		

●利用状況

		H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	17,183	16,622	17,690	17,435	18,338
	移動児童館利用者数	1,203	1,316	1,054	1,390	1,138
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	19	10	12	12	14
	開館日数(単位:日)	156	151	157	152	157

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、常勤嘱託職員(児童厚生員2名)。 ③おたよりの配布(小学校5幼稚園保育所8中学校2特別支援学校)・「ベビータイム通信」発行・配布、利用パンフレットの配布、行事ポスター、児童館ホームページ掲載、職員ブログの毎日更新 ④苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応。アンケート調査結果は館内に掲示(公開)。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電を実施。廃品の再利用(リサイクル・リユース)に努めた。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練1回実施

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成25年7月2日～12日に来館者(保護者)にアンケート(無記名)を実施。 回答者数 147人
利用者アンケートの実施結果	○児童センターのHPやブログについて 見たことがある HP78% ブログ71%、みやすいか はい70% みたことがない29% ○職員ブログについて 毎日の様子がわかって良い 楽しく最新の情報が知れて良い 内容によって色を変えるのとわかりやすい ○施設について ・整理整頓 満足82%、ほぼ満足17%、やや不満1%、 ・使いやすさ 満足78%、ほぼ満足20%、やや不満2% ○職員について ・対応 満足97%、ほぼ満足3% ・言葉使い 満足99%、ほぼ満足1% ・あいさつ 満足99%、ほぼ満足1% ○児童センターを知ったきっかけ 友人知人から37人、児童センターHP29人、赤ちゃんくらぶ21人、近所に住んでいる27人、子どものときに遊んでいた16人 岐阜市HP14人、保健センター13人、広報ぎふ8人、親子ふれあい教室7人、ぶりあ4人、その他3人
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・要望 ⇒ 回答 トイレ古い、狭い、幼児室せまい 車にの乗られると場所がなくなる ⇒今年度中にトイレの様式化とベビーキーパーを設置予定

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	S	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	B	B
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<ul style="list-style-type: none"> □毎日更新している職員ブログやホームページは好評で、アクセス数は2800を超えた。(携帯から直接アクセスしている数はカウントしていない) □おたよりの配布(小学校5幼稚園保育所8中学校2特別支援学校)・ベビータム通信・パンフレット・行事ポスター掲示・中日ホームニュース・ぶりあネット・ホームページ・移動児童館時などに広報に努めた。 また、かんがが一通信に記事を掲載して頂いたことで、通信をみて来館される方が増加した。 □母親クラブと共催で、新規のリトミック教室と3B体操教室を開催し、好評だった。 □諸団体との交流を通して、子育て支援に関する情報を得た。また子育て支援地域連携会議に参加意見情報交流を行った。関係団体との交流を密にする事が出来た。(参加者…子ども家庭課子ども家庭相談員、中市民健康センター、ふれあい保健センター、母子訪問員、主任児童委員、児童センター) □今年新たに、将棋連盟による親子将棋教室の団体利用を受け入れた。将棋に感心のある子どもの来館が増えた。 □中学校・小学校と気になる児童に関して、情報交流・対応について検討できた。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> □前回までの意見…「各施設でノウハウを共有するなどして今後もより充実した活動をしていただきたい」について岐阜市社会福祉事業団児童館児童センター職員研修会や、岐阜県児童館連絡協議会の研修会に出席して、活動メニューや運営に関するノウハウを交流・共有し、より充実した管理運営に努めた。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> □幼児クラブの参加希望者が多く、隔週実施にして対応しているが、それでも施設が狭い、幼児室が狭いとご意見を頂くことが多い。 □行事などは1回に多人数が集まることは避け、複数回開催し分散させるように取り組む。 □幼児クラブに関しては、午後から開催のクラブを増設し対応するが、お昼寝の時間や幼稚園のお迎えと重なるため、どうしても午前集中してしまう。お断りすることも出来ないの、申込みの時点でご理解ご協力頂くよう努めたい。

●所管課の意見

<p>児童センターのおたより配布、ベビータム通信、ホームページ等幅広い広報活動を実施した。職員ブログは毎日更新している。移動児童館事業は回数も多く、広報にもつながるとともに、遊びの提供に努めた。</p> <p>また業務改善として行事の開催日時を増やしたり、幼児クラブのメニューを改善した。新規事業としてもリトミック教室と3B体操教室を実施、また高校生の育児体験の受け入れを行った。</p> <p>来館利用者数が減っているように見えるのは例年9月に実施しているおまつりが今年度は10月になったためと考えられる。</p> <p>地域との交流も積極的に行っており、ボランティアの活動も継続的に行っている。地元の高校や中学校の体験事業を受け入れるなど地域とも協力連携を図っている。</p> <p>経営状況については、問題なく運営が行われた。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業運営は活性化されており、施設間での競争意識も働いて良い結果が出ている。今後も他施設との情報の共有・交換を積極的に行っていたきたい。</p> <p>子育て支援に対する社会の要望をきちんと把握し、うまく活動に取り入れている。</p> <p>ブログ等のインターネットを利用した広報は大変効果があり、引き続き活用していくと良い。</p> <p>適正に管理運営されており、良好と認められる。</p>
